



# 2023 S-FJ Japan League Rd.2



S-FJ オートポリスシリーズ 第2戦

## GOLD CUP RACE ROUND.2

2023年4月30日 天候:曇り・晴れ/ドライ 参加15台



テキスト:はた☆なおゆき

5シーズン目を迎えたスーパーFJの全国戦は、名称を「ジャパンチャレンジ」から「ジャパンリーグ」に改めて、6大会8戦で競われる。第2大会はオートポリスシリーズ第2戦と併せて、4月30日にオートポリスで開催された。

昨年のオートポリスシリーズでは最終戦が悪天候のため中止となり、5戦中4戦が成立した。そのうち3戦に出場し、2勝を挙げた清水啓伸選手がチャンピオンを獲得して、今年はFIA-F4へのステップアップが決定している。また、今年の3月26日に開催された第1戦では、関東在住ながら、今年はオートポリスシリーズも追いかける、宇高希選手(テイクファースト SAKURA)が、ポールポジションを獲得した永原蒼翔選手(ピットワークながはら MYST)を逆転して優勝。3位は碓井ツヨシ選手(C.O.B-KART)が獲得している。

ジャパンリーグ第1戦もてぎ大会から引き続き参戦するドライバーがいないのは残念ではあるが、2021年の最終戦で優勝経験を持つ、高口大将選手(レヴレーシング KK-SII)の遠征もあり、前回の表彰台獲得ドライバーたちとともに、激しいバトルを見せてくれるはずだ。

## 公式予選

今年からダンロップより供給されるコントロールタイヤはスペックが改められ、ライフの向上はもとよりグリップも高められている。その確認は、第1戦が終日ウェットコンディションだったためできなかったが、5月でもこのコンディションなら、ある程度は見えるはず。ちなみに昨年の第1戦では、清水選手によって1分58秒634が記されていた。

ちなみに土曜日はまた雨に見舞われ、ほとんどのドライバーが走行を見合わせるか、あるいは少ない周回に留めたが、金曜日はドライコンディションが保たれていた。いち早く練習を開始していた宇高選手が1分59秒台の前半を出していたとあって、予選ならば期待できそうだ。

日曜日の早朝は、路面のところどころにウェットパッチが残されていたが、スーパーFJの予選は5番目で、11時からのスタートあって、路面はもうドライコンディションになっていた。

それぞれアタックは計測2周目から。さっそく篠田義仁選手(イワモトレーシング/制動屋/SJ)が2分を切り、これに続いたのが KOUKI SAKU 選手(K2sports☆EKC☆SPV)、永原選手、高口選手。次の周に KOUKI SAKU 選手がトップに立ち、1分59秒145、1分58秒780 渡航タイムを連発する。KOUKI SAKU 選手が1周クールダウンを入れる間に、篠田選手も1分58秒544を出して再逆転に成功。あと1周にすべてが賭けられた。

その結果、篠田選手はタイムアップながらも、KOUKI SAKU 選手が1分58秒402までタイムを縮めてトップを再奪還！ さらに高口選手が1分58秒817で3番手に、宇高選手が1分58秒931で4番手に食い込み、入江裕樹選手(スラッシュ☆タツミレーシング)、永原選手を従えることとなった。

KOUKI SAKU 選手は久々の、そしてドライブするウエスト19Jにとっては、初めてのポールポジションとなった。また、昨年の最速タイムも、わずかながら更新されていた。

ポールポジション: KOUKI SAKU 選手(K2sports☆EKC☆SPV)

「路面はほとんどドライでした。この車、たぶん(ウエスト)19Jでポールは初めてで、去年は予選3番手だったり、決勝でも3位が最高だったり。オートポリス、地方のレースですけど、一回ぐらい真ん中に立たせてあげたいなと思っています。新しい(スペックの)タイヤは今日ニューを、予選で初めて使ったんですよ。金曜日の練習は、譲ってもらったユーズドで走っていたもので。まさか58秒まで出るとは思わなかったの、僕的には決勝もこの調子で頑張ります！」



予選2番手: 篠田義仁選手(イワモトレーシング/制動屋/SJ)

「昨日の雨の影響なのか、すごくトラックコンディションは良くて、今までにないぐらい。やっぱり埃とか、いろんなものが流れてきれいになっていましたね。それでタイヤを2周ぐらいしっかり温めて、3周目ぐらいから少しずつペースを作っていこうと思ったんですが、途中引かかかったりして、思うようなラップにならなかったんです。でも最後の方によくクリアが取れて、ここで行こうということで、めいっぱい行ってみました。地元ベテランの SAKU 選手が相手なので、難しいレースになると思うんですけど、後ろからもどんどん来ると思うので、10周しっかり最後までまとめられたらいいと思います。諦めずにいきます」



予選 3 番手:高口大将選手(レヴレーシング KK-SII)

「まわりが最初に出ていくのを予想して、1 分ぐらい遅らせて出て行ったんですけど、思ったよりタイムの出方が遅くて、もう1周必要だったかなと反省しています。トップとはコンマ 4 秒ぐらい差があるので、今チームと相談して、決勝に向けてどうセッティングしていくか話しているところです。僕にとってオートポリスは 1 年半ぶりぐらいで、走り始めた昨日は雨だったので、ドライ走れていないんですよ。でも、決勝に向けては悪くはないかと思っています」



### 決勝レース

スーパーFJ の決勝レースは、このレースウィークの締めくくりとなった。予選の頃はまだ雲も浮かんでいたが、それもなくなって青空の下での戦いに。1台のエンジンストールもなく、全車一斉にスタートを切り、1コーナーへのホールショットを決めたのは、ポールシッターの KOUKI SAKU 選手だ。これに篠田選手が続くも、高口選手と宇高選手はより鋭いダッシュを決めていた入江選手の先行を許してしまう。以下、東慎之介選手(セルモグループ ORM/戸田 ED)、永原選手の順。

オープニングラップこそ一列渋滞と言うべき状態だったが、2周目を終えるとトップの KOUKI SAKU 選手がリードを 1 秒 3 に広げ、その後も篠田選手を離し続ける。その篠田選手も徐々に後続との差を広げていたが、なんとスタート手順違反のペナルティとしてタイム加算がタイミングモニターに記載される。グリッド整列後、ギヤを入れた際に車がわずかに動いたのが原因だった。

ひとり逃げる KOUKI SAKU 選手、そして自身に課せられたペナルティを知る由もない篠田選手ながら、やがて 10 秒加算とのアナウンスが。3 位以下をどれだけ離すか



によって、ポジションダウンは最小限にできる。ただ、繰り返すが本人はそのことを知らない。

おあつらえ向きに、激しくなっていたのが入江選手と宇高選手による3番手争い、事実上の2番手争いだ。また、その後方でも高口選手と永原選手、東選手が若手同士で激しく競い合い、5周目の第2ヘアピンで永原選手が高口選手をパス。篠田選手の走りを見守るしかない、ピットクルーとしては、「もっとやり合え！」たる心境だったに違いない。



一方、一時は3秒にまでリードを広げていた KOUKI SAKU 選手のペースが、9周目に入って一気に落ちる。安全マージンを取ったのかと思いきや、ジェットコースターストレートでシフトミス。もしも、それまで逃げ続けていなかったら、展開にも変化が及んでいたことだろう。その後は難なくトップを守り抜き、KOUKI SAKU 選手がポール・トゥ・ウィンを達成。2017年の第1戦以来の勝利となった。

入江選手と宇高選手、最後は永原選手も加えたバトルは、何度も宇高選手が横に並ぶも、抜き去るまでには至らず。入江選手が2位、宇高選手が3位でフィニッシュ。そして篠田選手は10秒加算されてなお、永原選手に続く5位ということで、決着がついたかと思われた。ところが、再車検で永原選手は、最低地上高違反で失格となり、篠田選手が繰り上がって4位に。5位は高口選手が、6位は東選手が獲得した。



ウィナー: KOUKI SAKU 選手(K2sports☆EKC☆SPV)

「優勝はいつ以来？ チャンピオンを獲った(2015)年以来かな。その後もあったかもしれませんが、久しぶりです。篠田選手のペナルティは全然知らなくて、とにかく行けるだけ行っちゃおうと。若い子が、後ろいっぱいだったので。だいたい僕、後半からいつも行くんですけど、逆に今日は早めに逃げちゃおうと。後半は抑えたというか、シフトミスしちゃって、ジェットコースターのところで。ワ～っと落ちたでしょ、これ下りをニュートラルで(苦笑)。その後はまた盛り返しましたが、19J では初めての優勝で、部品供給お願いしますって書いておいてください(笑)」

2位:入江裕樹選手(スラッシュ☆タツミレーシング)

「良かったです、スタートだけ決まりました！ とにかくマシンが故障することが多くて、今シーズンからのタイヤをほとんど使えていなくて、やっぱりうまくいかず、予選は。決勝も実は後半すぐきつくて、宇高くんに追い上げられたんですが、なんとか抑えられて良かったです。プレッシャーきつかったです、もうシフトミス連発でした」

3位:宇高希選手(テイクファースト SAKURA)

「最終ラップがいちばんチャンスだったんですけど、前で入江選手がミスしたと思うんですよ。横に並ぶところまで行っても、完全に前に出ることはできなくて。低めのギヤで立ち上がり重視で行こうとしたんですが、ちょっと間合いが取れず抜けなかったです。そもそもスタートがホイールスピンさせすぎて、ミラー見たら白煙上がっていたので、今回失敗したなって。まだドライのスピードにも課題があるので、それを次回のレースで解決したいと思っています」

次回のジャパンリーグは5月28日に筑波サーキットで、そしてオートポリスシリーズの第3戦は6月21日に開催される。



JAF地方選手権スーパーFJ 第2戦

スーパーFJ 公式予選

2023 / 4 / 30 12:04



正式結果

Weather :曇り  
Track :ドライ

Autopolis International Racing Course(4,674m)

Pos	No	Name	Car	Type	Best Time	Lap	Gap	Ave. Km/h
1	56	KOUKI SAKU	K2sports☆EKC☆SPV	WEST 19J	1'58.402	7 / 7		142.112
2	44	篠田 義仁	イワモトレーシング/制動屋/SJ	MYST KK-SII	1'58.544	6 / 7	0.142 0.142	141.942
3	7	高口 大将	レウレーシングKK-S II	MYST KK-SII	1'58.817	7 / 7	0.415 0.273	141.616
4	23	宇高 希	テイクファースト SAKURA	RD10V	1'58.931	7 / 8	0.529 0.114	141.480
5	33	入江 裕樹	スラッシュ☆タツレーシング	MYST KK-SII	1'59.225	8 / 8	0.823 0.294	141.131
6	51	永原 蒼翔	ビットワークながはらMYST	MYST KK-SII	1'59.359	7 / 7	0.957 0.134	140.973
7	26	東 慎之介	セルモグループORM/戸田ED	MYST KK-SII	1'59.662	8 / 8	1.260 0.303	140.616
8	24	碓井ツヨシ	C.O.B-KART	MYST KK-SII	1'59.873	7 / 7	1.471 0.211	140.369
9	89	高橋 裕和	イワモトレーシング★効ハシRT	MYST KK-SII	1'59.951	8 / 8	1.549 0.078	140.277
10	15	楊 昌樹	LBJ-Wakida Racing	MYST KK-SII	2'00.201	7 / 8	1.799 0.250	139.986
11	11	TERUO	TEAM FALCON No.11	MYST KK-SII	2'00.585	6 / 8	2.183 0.384	139.540
12	6	DON LUCIANO	LBJレーシング	MYST KK-SII	2'02.520	5 / 8	4.118 1.935	137.336
13	98	JUN	Blue style・オガテック 17J	WEST 17J	2'02.646	6 / 7	4.244 0.126	137.195
14	19	大隈 雄策	鎌田商運オガテック ミシマ19j	WEST 19J	2'04.470	6 / 7	6.068 1.824	135.184
15	77	友田 勇成	TMD-LBJレーシング17J	WEST 17J	2'08.980	3 / 7	10.578 4.510	130.457

\*\*\*\*\* 以上予選通過 (2'34.163 - 130%) \*\*\*\*\*

JAF地方選手権スーパーFJ 第2戦

スーパーFJ 決勝

2023 / 4 / 30 18:22



正式結果

Weather :晴れ  
Track :ドライ

Autopolis International Racing Course(4,674m)

Pos	No	Name	Car	Type	Lap	Total Time	Gap	Ave. Km/h	Best Time
1	56	KOUKI SAKU	K2sports☆EKC☆SPV	WEST 19J	10	20'00.029		139.491	1'59.011
2	33	入江 裕樹	スラッシュ☆タツレーシング	MYST KK-SII	10	20'07.532	7.502 7.502	138.624	1'59.760
3	23	宇高 希	テイクファースト SAKURA	RD10V	10	20'07.826	7.796 0.293	138.590	1'59.833
*1	44	篠田 義仁	イワモトレーシング/制動屋/SJ	MYST KK-SII	10	20'10.777	10.747 2.951	138.252	1'59.146
5	7	高口 大将	レウレーシングKK-S II	MYST KK-SII	10	20'11.006	10.976 0.228	138.226	2'00.263
6	26	東 慎之介	セルモグループORM/戸田ED	MYST KK-SII	10	20'11.282	11.252 0.275	138.195	2'00.077
7	89	高橋 裕和	イワモトレーシング★効ハシRT	MYST KK-SII	10	20'17.676	17.646 6.394	137.469	2'00.792
8	15	楊 昌樹	LBJ-Wakida Racing	MYST KK-SII	10	20'23.418	23.389 5.742	136.824	2'01.227
9	24	碓井ツヨシ	C.O.B-KART	MYST KK-SII	10	20'26.447	26.417 3.028	136.486	2'01.640
10	6	DON LUCIANO	LBJレーシング	MYST KK-SII	10	21'11.449	1'11.419 45.001	131.655	2'04.008
11	77	友田 勇成	TMD-LBJレーシング17J	WEST 17J	10	21'55.914	1'55.884 44.465	127.206	2'09.745

\*\*\*\*\* 以上完走 (規定周回数 9Laps) \*\*\*\*\*

19	大隈 雄策	鎌田商運オガテック ミシマ19j	WEST 19J	7	15'26.545	3Laps	3Laps	126.182	2'04.895
98	JUN	Blue style・オガテック 17J	WEST 17J	6	12'37.297	4Laps	1Lap	132.164	2'03.885
11	TERUO	TEAM FALCON No.11	MYST KK-SII	6	12'48.159	4Laps	10.861	130.295	2'01.716
*2	51	永原 蒼翔	ビットワークながはらMYST	MYST KK-SII					失格

Fastest Lap

1'59.011 (6 / 10) 141.385 km/h 56 KOUKI SAKU / K2sports☆EKC☆SPV

Start Time :16:19'22 Finish Time :16:39'22

Entry :15 Start :15 Finish :11

\*1 No.44は、2023オートポリス一般競技規則 第13章 第31条9.(スタート手順違反)により、競技結果(20'00.777)に対し10秒加算のペナルティを課した。(裁定時刻 16:21)  
\*2 No.51は、2023JAF国内競技車両規則 第8章 第2条2.7.(最低地上高)違反により、失格とした。(裁定時刻 17:42)